



緊急度・重症度からみた 症状別看護過程＋病態関連図

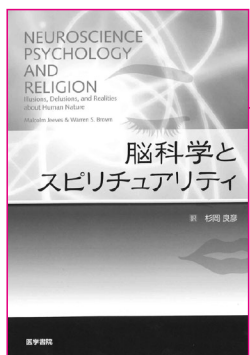
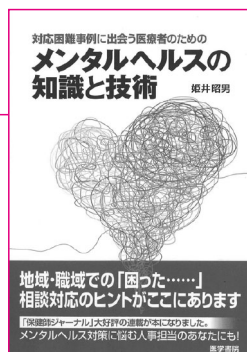
編：井上智子・佐藤千史／医学書院
定価 5,250 円(本体 5,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■看護過程を考えるうえで「知っておきたい情報がすべて入ったオールインワン」(本書「帯」より)。身体を「全身」「脳・神経系」など8つの部位に分け、それぞれの症状にあわせた治療フローチャート、看護過程のフローチャートを示し、看護計画、介入のポイントと、詳細にその道筋をたどる。アセスメントと起こり得る問題、そして病態関連図までで完結する62の症状。

対応困難事例に出会う医療者のための メンタルヘルスの知識と技術

著：姫井昭男／医学書院
定価 2,520 円(本体 2,400 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■『保健師ジャーナル』誌にて好評を博した連載記事が待望の単行本化。医療現場を含むストレスフルな職場、学校、そして地域で、大きな社会問題として認識されつつあるメンタル障害。その対処法を、隠された問題を探りながら、着目すべきポイントを挙げ、現場に即した形で丁寧に解説する。相談や接遇など、人を支援する職種にある人の巻き込まれや、燃え尽きを防ぐために、障害の正しい理解を。



脳科学とスピリチュアリティ

著：M. Jeeves, W. S. Brown／訳：杉岡良彦／医学書院
定価 2,940 円(本体 2,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

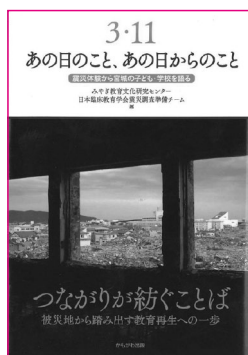
■脳の構造や働きの解明が進むなか、脳と心＝スピリットとの深い関わりに関心が向けられている。本書は、脳イメージングを用いた最先端の研究を紹介しつつ、主にキリスト教神学でいうスピリチュアリティと進化心理学の関係を考察し、スピリチュアリティは(脳に)「組み込まれ、身体化されている」と結論づける。スピリチュアルな領域を含んだケアを提供する、その意味を考えるための名著。

JJN スペシャル アセスメント力を高める！ バイタルサイン

著：徳田安春／医学書院
定価 2,520 円(本体 2,400 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■命の徴候、バイタルサインの「正しい測定方法・手順・タイミング、そして『現場でのいかし方』」をオールカラーで徹底解説(本書「帯」より)。バイタルサインは、ケアの基本。検査に頼る前にバイタルサインを正しく捉え、そこから伝わる情報に的確に対処することがその後を大きく左右することは言うまでもない。著者の総合診療医としての経験と知識の蓄積を、いま看護に贈る。





3・11 あの日のこと、あの日からのこと 震災体験から宮城の子ども・学校を語る

編：みやぎ教育文化研究センター・日本臨床教育学会震災調査準備チーム／かもがわ出版
定価：1,575 円(本体 1,500 円＋税)／TEL：075-432-2868

■「私たちが生き方への問い直しを迫られたものと3・11を受け止め、生きた者、教育を生業とする者の責任として学校・教育の再生に本気で取り組むとき、この『あの日』『あの日から』の報告がその一歩としての意味をもつことになるかもしれない」(「はじめに」より)の言葉が、何よりももの紹介文。子どもと親、教師、それぞれの胸に刻まれた3月11日。生への感謝を共通項に立ち上がる。

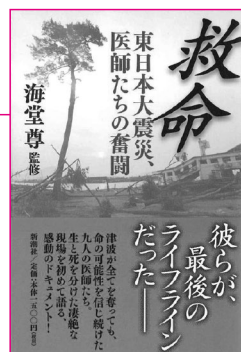
救命

東日本大震災、医師たちの奮闘

監修：海堂尊／新潮社

定価：1,575 円(本体 1,500 円＋税)／TEL：03-3266-5111

■大震災発生直後から、被災した地域の医療機関では多くの医療職が住民の命を守るため、プロフェッショナルとしての使命を果たしていた。多くの人の死を目の前に、その命を悼(いた)み、救える命に寄り添い奮闘した9人の医師たちを取り巻くドキュメント。丁寧な取材から、彼らが医療人として何を行動の機軸にしたのか、その心のもちようと、人々との関わりが描き出される。



日本医療再生のために

起ちあがれ！日本の勤務医よ

著：植山直人／あけび書房

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3234-2571

■全国医師ユニオン代表を務める著者が、日本の病院などで働く勤務医と欧米の勤務医の社会的位置づけを比較しつつ、その実態と課題に迫る。なぜ、日本の医師は労働運動をしない存在であり得たのか。医療崩壊を防ごうと、多くの自治体、地域の診療所でさまざまな改革への取り組みが始まるいま、真の福祉国家における医療の役割を、医療職の側から考える。



看護教育を創る授業デザイン

教えることの基本となるもの

著：目黒悟／メヂカルフレンド社

定価 2,310 円(本体 2,200 円＋税)／TEL：03-3264-6611

■本誌に教育技法を執筆された故藤岡完治氏の「授業デザイン」の考え方を発展させ、「生きて動いている授業」をコンセプトに編み出した、看護教育を「創る」ためのテキスト。中核となる「6つの構成要素」について、それぞれの要素に込められた意味を丁寧に解説。演習での臨場感・切実感をデザインするには？ 実習を生きた学びとするためには？ 伝えるべき看護観＝ねがいの重要性を説く。

